



弘前城北の物語 —北門から始まる弘前—

時は1600(慶長5)年9月15日。
美濃国不破郡関ヶ原において、毛利輝元を総大将とする西軍と、徳川家康率いる東軍による天下分け目の一大決戦が行われました。この戦いで東軍に与した津軽為信は、戦後、新たに開かれた徳川幕府より、津軽一帯の所領安堵を得ることに成功します。そして為信は、かねてより構想していた新たな城と城下町の建設に着手。1603(慶長8)年頃、当時「高岡」と呼ばれていた、現在の弘前公園一帯をその地に定め、築城を開始しました。築城当時、高岡から江戸へ向かう主要な街道は、西浜街道と呼ばれる道のみ。岩木山を迂回し、日本海側の鯉ヶ沢を経て、秋田県境の大間越を抜けるこの道は、城の北側へと通じていました。そのため弘前城の正門は、現在の北門(亀甲門)に定められ、城を守る最前線として、門前には下級武士を中心とする武家屋敷群が最初に整備されたのです。現在、弘前公園北側一帯は、通称「仲町」と呼ばれ、全国で17番目に選定された伝統的建造物群保存地区となっています。

地区内には、現在公開されている武家屋敷が4軒あり、当時の暮らしの面影を伝えています。また、表通りにあたる亀甲町には、藩政時代から続く商家や藍染屋、そして弘前の風物詩「路上アイス」の店など、古き良き弘前と、今の弘前が溶け合うように、個性豊かな店々が軒を連ねています。ゆるやかな時間が今も流れるこの町並みを、あなた自身の足で、歩いて確かめてみませんか。



弘前公園北エリアへのアクセス



【弘前観光玄武の会】が案内する「古の津軽を知る・感じる」まちあるきツアー

弘前城を守る任にあった下級武士たち、暮らしを支えた職人たち、経済を活気づけた商人たち。さまざまな身分の人々の暮らしを知るいにしへの散歩です。ガイドさんの話を聞きながら、武士の作法や今日の弘前の礎を築いた先人たちの息吹を感じてみてはいかがでしょうか。

- 時間 / 9:30~12:30 ●定員 / 1名様から催行 ●集合 / 津軽藩ねぶた村
- 予約 / インターネットは3日前まで(電話予約は前日12:00まで)
- 料金 / 4,000円(入館料等込み) ●設定 / 通年
- <お電話によるお問合せ・お申込み>
- 弘前観光玄武の会 事務局 津軽藩ねぶた村 TEL:0172-39-1511



ご予約はこちらから





①旧伊東家住宅

元藩医の住居で、市内元長町から移設されました。中級武士の居宅の特徴を残すこの建物から、往時の様子を偲ぶことができます。

- 弘前市大字若党町80●入館料／無料
- 駐車場／なし●開館時間／午前10時～午後4時
- ※さくらまつりとねぶたまつりの期間中は開館時間を変更する場合があります
- 休／火・金曜日(7～10月)、月・火・水・木曜日(11月～3月)、8月13日、年末年始、
- ※4～6月とねぶたまつり、菊と紅葉まつり、雪燈籠まつり期間中は休館日なし



②旧梅田家住宅

江戸時代末期、市内の在府町に建てられた後、現在の場所へ移築されました。厳しい冬の寒さに備え、西面と北面は風雪を防ぐ閉鎖的な構造になっています。

- 弘前市大字若党町80●入館料／無料
- 駐車場／なし●開館時間／午前10時～午後4時
- ※さくらまつりとねぶたまつりの期間中は開館時間を変更する場合があります
- 休／火・金曜日(7～10月)、月・火・水・木曜日(11月)、12月～3月は冬期休館、8月13日、年末年始、
- ※4～6月とねぶたまつり、菊と紅葉まつり、雪燈籠まつり期間中は休館日なし



③藤田アイス店(株藤田正紀商店)

先代より受け継がれた製法で作る、溶けにくく果実の美味しさが詰まったアイスです。弘前市民には「カラカラアイス」の愛称で親しまれています。

- 弘前市紺屋町176
- TEL／0172-34-5727
- 営業時間／午前8時～午後5時
- 休／日曜日、11月中旬～2月末



④旧紺屋町消防屯所

1933(昭和8)年頃に建築され、警察署の派出所も兼ねていました。望楼を備えた消防屯所としては市内最古の建物で、洋風の外観が印象的です。

- 弘前市紺屋町2-2
- TEL／0172-35-1111(弘前市文化財課)
- 展覧会開催時開館(要問合せ)



⑤café KITAMON

1982(昭和57)年から続く喫茶店です。ふわとろたまごのオムライスや、ボリューム満点なパフェ、ハンドドリップコーヒーが人気です。

- 弘前市亀甲町90-1
- TEL／0172-34-3652
- 営業時間／午前9時～午後8時30分
- 休／第1・3・5日曜日



⑥珈琲 はなまる

武家屋敷の街並みの中、家庭的雰囲気のある喫茶店です。自家製アップルパイとシフォンケーキが人気。幕末時代の珈琲の入れ方を参考にした「藩士の珈琲」の淹れ方も体験できます。

- 弘前市若党町61-4
- TEL／0172-37-8701
- 営業時間／午前10時30分～午後6時
- 休／水・木曜日



⑦石場家住宅

弘前藩御用達の商家として栄えた、江戸時代中期の建築物です。軒先に張り出した「コミセ」が今も残り、店と土蔵が通り土間で結ばれています。

- 弘前市亀甲町88
- TEL／0172-32-1488
- 入場料／中学生以上100円、小学生以下無料
- 営業時間／午前9時～午後5時
- 休／不定休、1月1・2日



⑧津軽天然藍染 川崎染工場

川崎染工場では、江戸時代から愛されてきた伝統的な藍染を、現代まで伝えてきております。当時の藍染も体験できます。(要予約)

- 弘前市亀甲町69-1
- TEL／0172-35-6552
- 営業時間／午前9時～午後5時
- 休／木曜日(さくらまつり、ねぶたまつり期間中を除く)



⑨DRAW&CO.

弘前市唯一のヘアサロン／エステ&アイブロー&アイラッシュ／カフェの複合ショップです。

- 弘前市亀甲町68-4
- TEL／0172-80-9098
- 営業時間／午前10時～午後8時
- 休／月曜日(その他休業日あり)



⑩Boulangerie Four

店内いっばいに広がる焼き立てパンの匂い。窓辺に座りコーヒーと共に楽しむひと時……。笑顔とぬくもりに溢れたパン屋さんです。

- 弘前市亀甲町65-1
- TEL／0172-33-2222
- 営業時間／午前7時30分～午後6時
- 休／月曜日(但し祝日の場合は火曜日)



⑪Marudai

着物のレンタルを行っています。城下町・弘前を、着物姿で散策してみませんか。手ぶらで気軽に、和装での観光をお楽しみいただけます。

- 弘前市亀甲町59-7
- TEL／0172-88-5621
- 営業時間／午前10時～午後6時
- 休／水曜日

北門から歩く弘前をご案内いたします

弘前公園北門(亀甲門)を訪れると、そこには城を守った武家屋敷の町並みが今も静かに残っています。仲町は全国で17番目に選ばれた伝統的建造物群保存地区。サワラ生垣が続く小路には、藩政時代の暮らしの面影が息づきます。亀甲町周辺には商家や藍染屋、喫茶店やベーカリー、路上アイスの店などが並び、古き良き弘前と今の暮らしが溶け合う風景に出会えます。北門から始まる街あるきで、弘前の歴史に触れてみませんか。



⑭旧岩田家住宅

19世紀初期に建てられた中級武士の住宅で、土地とともに弘前市に寄贈されました。当時の武家の生活空間を建物の随所から感じ取ることができます。

- 弘前市大字若党町31●入館料／無料
- 駐車場／なし●開館時間／午前10時～午後4時
- ※さくらまつりとねぶたまつりの期間中は開館時間を変更する場合があります
- 休／月・木曜日(7～10月)、水・木・金・土・日曜日(11～3月)、8月13日、年末年始
- ※4～6月とねぶたまつり、菊と紅葉まつり、雪燈籠まつり期間中は休館日なし



⑬旧笹森家住宅

弘前藩の武家住宅園台帳に掲載された由緒ある武家住宅で、当地区・小人町から移築されました。接客を重んじる間取り等に武家住宅の特徴がよく表れており、国指定重要文化財となっています。

- 弘前市大字若党町72●入館料／無料
- 駐車場／なし●開館時間／午前10時～午後4時
- ※さくらまつりとねぶたまつりの期間中は開館時間を変更する場合があります
- 休／月・木曜日(7～10月)、月・火・金・土・日曜日(11～3月)、8月13日、年末年始
- ※4～6月とねぶたまつり、菊と紅葉まつり、雪燈籠まつり期間中は休館日なし



⑫津軽藩ねぶた村

津軽の文化を丸ごと楽しめる観光体験施設です。実物大の弘前ねぶたを展示、津軽三味線生演奏などが人気で、売店や食事処も併設されています。

- 弘前市亀甲町61
- TEL／0172-39-1511
- 入場料／大人600円
- 営業時間／午前9時～午後5時 ●休／無休